

地方独立行政法人山口県産業技術センター第1期中期目標（案）【概要版】

【基本的な目標】

- ◆ 産業技術に関する試験研究、その成果の普及、産業技術に関する支援等を総合的に行い、本県の産業振興に寄与する。
- ◆ 第1期中期目標期間においては、安定した運営体制、サービスの向上に資する仕組みを早期に確立し、理事長のトップマネジメントの下、自主性、自律性を発揮して、その目的の達成に向けて着実に成果をあげる。

第1 中期目標の期間

- ◆ 平成21年4月1日から平成26年3月31日までの5年間

第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標

1 県内の企業が直面する課題への技術支援の強化に関する目標

- ◆ 技術相談に対する効果的、機動的な対応や相談後の適切な支援が行える体制の整備と遠隔地における対応の充実
- ◆ 開放機器、依頼試験、受託研究等について、ニーズに迅速かつ柔軟に対応できる体制を整備し、サービスや利便性を向上
- ◆ 県内企業の技術力の向上等に向けて、企業技術者の研修を効果的に実施
- ◆ 新製品開発や新事業開拓に向けた企業間連携への積極的な技術協力
- ◆ 支援業務のニーズ適合性、効率性等を定期的に評価し、その結果を業務改善等に反映させる仕組みづくりの推進

2 県内の企業の持続的な発展に寄与する研究開発の推進に関する目標

- ◆ 市場を睨んだ出口戦略を明確にして、重点的な研究開発を実施
- ◆ 提案公募事業等を活用して、地場企業の持続的な発展に資する研究開発を積極的に推進
- ◆ 研究開発成果の積極的な情報発信と普及に努め、企業への技術移転を推進
- ◆ 研究開発業務の合目的性や成果等を、外部の有識者を交えて定期的に評価し、その結果を業務の見直し等に反映させる仕組みづくりの推進

3 県内の企業の新たな事業展開に向けた産学公連携の取組に関する目標

- ◆ 企業の新規事業展開等への支援が適切に行える体制を整備し、大学や企業等との連携の下、先導的な研究開発を推進
- ◆ 隣接する入居型の研究開発支援施設「新事業創造支援センター」の機能の充実を図りつつ、効果的に運営
- ◆ コーディネート機能を発揮して産学公連携による取組を促進
- ◆ 他の公設試験研究機関等と連携し、農商工連携事業等のニーズや広域的な課題に適切に対応

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 運営体制の改善に関する目標

- ◆ 理事長の迅速な意思決定の下で、業務を的確かつ効率的に遂行するための仕組みの構築
- ◆ 経営資源の戦略的な配分を行う仕組みづくりの推進
- ◆ 適正で透明性の高い業務運営を確保

2 人材育成、人事管理に関する目標

- ◆ 職員の能力開発に資する研修等を戦略的に実施し、企業に対する支援や新たな研究開発の実施に必要な技術力、知識を向上
- ◆ 客観的な基準に基づく業績評価の結果を職員の処遇等に適切に反映する仕組みを構築

3 業務運営の効率化、合理化に関する目標

- ◆ 常に業務運営の見直しを行い、企業のニーズ等に的確に対応した事務改善を実施

第4 財務内容の改善に関する目標

1 外部資金、その他の自己収入の確保に関する目標

- ◆ 積極的に競争的資金等の獲得に努めるほか、機器の開放、知的財産権の使用許諾等により、運営費交付金以外の自己収入を確保

2 財政運営の効率化に関する目標

- ◆ サービスの質の維持向上に配慮しながら、組織運営の効率化、予算の弾力的・効率的な執行、契約方法の改善などにより経費を抑制

第5 その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の管理等に関する目標

- ◆ 施設設備の有効かつ効率的な活用、設備・機器の計画的な整備

2 安全衛生管理に関する目標

- ◆ 利用者及び職員の安全の確保等に関する取組の実施

3 環境への負荷の低減に関する目標

- ◆ 業務運営に伴う環境負荷を低減するための取組を適切に実施